



パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.19, 2013. 2.14

会長就任のご挨拶

桑名義晴（桜美林大学）

今般、西村吉正前会長（早稲田大学名誉教授）の後任として、会長に推挙されました。夢想だにしなかったことで、まさに青天の霹靂です。本学会の取り巻く金融サービス環境や本学会の現状を考えると責任の重さを痛感せざるを得ませんが、微力ながら学会の発展に尽力していきたいと存じます。

さて本学会は、2000年3月に「消費者金融サービス研究学会」として発足しておりますので、今年で13年目を迎えたこととなります。この間、本学会は「消費者金融サービスやパーソナル・ファイナンスの諸問題を学際的な視点から総合的に研究し、消費経済社会および関連する諸産業・企業の発展、消費者利益に寄与する」という設立趣旨に基づいて様々な活動を展開し、着実に発展してまいりました。

一方、本学会を取り巻く金融サービス環境は大きく変化しました。とりわけ消費者金融業界を取り巻く環境は激変しました。同業界は20数年前から急成長し、各企業の収益も拡大して、その社会的認知度も次第に高まりつつありました。しかし、2000年初期あたりから、多重債務や上限金利の問題が議論されるようになると、消費者金融業界はターニング・ポイントを迎え、さらに2006年に貸金業法の改定が行われると、激震が走り、壊滅的ともいえるほどの大きな打撃を被りました。最近、貸金業市場に薄日が差し始めてきているとの見方もありますが、依然として厳しい状況

にあることには変わりはありません。とはいえ、海外に目を転じると、アジア新興国市場で広大なビジネス・チャンスがあり、市場開拓が急務となっております。

いうまでもなく、経済や経営関係の学会の本来のミッションは、経済社会の諸問題の研究に取り組み、それを解明し、産業や企業の発展、人々の利益・厚生に有用な政策を提言することにあります。こうした学会のミッションを遂行するために、本学会では江夏健一初代会長（早稲田大学名誉教授）の時には、全国大会の開催、機関誌の発刊、部会の創設など、学会活動の基盤づくりがなされました。また西村吉正前会長の時には、金融サービス環境の激変に対応すべく、学会活動の研究のウイングを広げる目的で、学会名称の変更、消費者金融と他分野との融合、幅広い金融・経済教育、個人金融の歴史、国際比較など、フロンティア分野の研究への礎石が築かれました。

今後本学会は、このようなこれまで築かれた土台に立脚しつつ、その活動を着実に実行していくと同時に、やや長期的には学会自体の変革に挑戦することも重要な課題になると思われます。今年度は例年の定例的な活動に加え、とくに各部会活動の一層の活発化と新しいトピックに関するプロジェクトの発足を目標にしたいと思います。これらの活動を通じて、産業界、企業、消費者にとって意義ある有用な提言を積極的に行っていきたくと考えております。それには会員の皆様の積極的な参画が不可欠になります。会員の皆様のご協力を衷心よりお願いする次第であります。

Contents

4年間を顧みて……………前会長 西村吉正	
新役員紹介……………	pp.2-3
会則・会員名簿発行について……………	p.3
第14回全国大会について……………	p.3
東部部会発表者募集……………	p.3



4年間を顧みて

前会長 西村吉正
(早稲田大学名誉教授)

わが国は明治以来、先進諸国に追いつき追い越すことを経済発展の目標としてきました。そのため金融の世界でも、学術的な研究を含め、国家や企業の活動を支援するためのインフラストラクチャーとなるのが中心的な課題となってきました。個人（消費者）を対象とする金融は、実務の世界でも学術の世界でも、片隅に置かれてきたのです。

そのような風潮にささやかな一石を投げようと、消費者金融サービス研究学会が2000年3月に発足し、私も当初から参加させていただきました。その後10年の研究学会の活動経験とその間の金融サービスをめぐる環境変化を踏まえて、2009年5月にパーソナルファイナンス学会と名称を変更し、研究領域を広げ一層活発な学会活動に取り組むこととなりました。そのような転換の背景としては、消費者金融と他の分野との融合が進み、利用者の金融に対する関心が多様化したことがあります。もっと率直に言えば、戦後形成されてきた伝統的な消費者金融の発想や手法にとらわれすぎていると、社会の共感を失いかねないことに気づかされたということです。

一時は消費者金融に対してやや極端な反応を示した社会や政治も、今ではほぼ落ち着きを取り戻しています。しかし、パーソナルファイナンスが広く末永く社会の支持を得ていくためには、結局はそれが世のため人のため、国民生活を幸せにするためのインフラストラクチャーであることを人々に実感させることが不可欠でしょう。実務の世界でも学術の世界でも、まだまだそのような課題に取り組み始めたばかりだと思いつつ、あっという間に任期を終えてしまいました。桑名新会

長のもとに、パーソナルファイナンス学会がますますの発展を遂げられるよう心から祈っております。

新役員紹介

去る2012年10月13日に開催された第13回全国大会会員総会にて役員改選が行われ、同日開催の第4回理事会にて新会長が選出されました。第13期～第17期改選日までの新役員をご紹介します。(敬称略)

会 長	桑名義晴 (桜美林大学)
副会長	杉江雅彦 (同志社大学名誉教授)
	坂野友昭 (早稲田大学)
	晝間文彦 (早稲田大学)
常任理事	飯田隆雄 (札幌大学)
	伊東眞一 (大阪商業大学)
	今井雅和 (専修大学)
	大東和武司 (広島市立大学)
	岸本寿生 (富山大学)
	武長脩行 (椙山女学園大学)
	田中幸弘 (新潟大学)
	高井 透 (日本大学)
	土井一生 (九州産業大学)
	春井久志 (関西学院大学)
理 事	栗田房穂 (経済ジャーナリスト)
	井澤裕司 (立命館大学)
	江夏健一 (早稲田大学名誉教授)
	岡村 誠 (広島大学)
	片山隆男 (大阪商業大学)
	小林麻理 (早稲田大学)
	酒井一郎 (酒井キャリア研究所)
	佐藤幸志 (拓殖大学)
	竹之内秀行 (上智大学)
	竹本拓治 (福井大学)
	茶野 努 (武蔵大学)
	堂下 浩 (東京情報大学)



西ヶ谷葉子（生活行動研究所）
 西村吉正（早稲田大学名誉教授）
 藤江俊彦（千葉商科大学）
 藤原七重（千葉商科大学）
 前田真一郎（名城大学）
 森 直哉（日本大学）
 山岡道男（早稲田大学）
 監 事 高 巖（麗澤大学）
 樋口大輔（東京情報大学）
 山本崇雄（神奈川大学）
 顧 問 安井信夫（中央大学名誉教授）

スまでご連絡くださいますようお願いいたします。

第 14 回全国大会は関西学院大学で開催

開催日 2013 年 10 月 12 日（土）～13 日（日）
 実行委員長 春井久志（関西学院大学）
 大会委員長 飯田隆雄（札幌大学）
 統一論題の発表、自由論題報告の募集については、決まり次第 HP にてお知らせいたします。
 *今大会より参加費の徴収が検討されています。

東部部会開催 研究発表者募集！

共催：早稲田大学クレジットビジネス研究所

日時：2013 年 4 月 25 日（木）18：00-19：00
 会場：早稲田大学 国際会議場 3F 第 2 会議室
 司会：晝間文彦（早稲田大学）
 発表希望の方は、氏名、連絡先、報告要旨を A4 判 1 枚程度にまとめ、3 月 25 日（月）までにリエゾン・オフィスまでお申し込みください。多数のご応募をお待ちしております。
 お申込先：japf@ibi-japan.co.jp

【委員長・部会長】

西部部会長	杉江雅彦
東部部会長	晝間文彦
大会委員長	飯田隆雄
大会副委員長	藤江俊彦
国際交流・広報委員長	土井一生
編集委員長	伊東眞一
編集副委員長	栗田房徳
研究・出版助成委員会	今井雅和
総務・財務委員会	岸本寿生
学会賞委員会	大東和武司
経済学部会長	春井久志
経営学部会長	高井 透
法学部会長	田中幸弘
社会・心理部会	武長脩行
教育部会	山岡道男

（委員については、現在編成・打診中です）

会則・会員名簿発行について

このたび、学会活動の活性化と学術的交流を目的として、会則・会員名簿を作成することといたしました。すでに会員の皆様へは登録情報確認のお願いをお送りしております。4 月発行を予定しておりますので、それまでにご所属の変更や訂正などございましたら、お早目にリエゾン・オフィ

会費納入のお願い

2012 年度（第 13 期）年会費未納の方は、お早目に納入をお願いいたします。
 郵便口座 00110-4-187598
 口座名 パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.19

発行日：2013.2.14

発行：パーソナルファイナンス学会

監修：国際交流・広報委員長

土井一生（九州産業大学）

編集：リエゾン・オフィス

【業務委託】(株)国際ビジネスセンター

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518

司ビル 3F ☎ 03-5273-0473